



◀総合グランプリを受賞した佐用さん



▶gajuさんが制作したトロフィー

自慢の歌声を競う

牛深ハイヤ節全国大会

6月29・30日、牛深ハイヤ節の唄を競う「第13回牛深ハイヤ節全国大会」が牛深総合センターで開かれ、全国から100人が出場しました。同大会は、年代ごとに5つの部門を設けて予選・決勝（ジュニアの部は決勝のみ）を行い、ジュニア部門を除く各部門の優勝者で総合グランプリを競うものです。

結果は、実年の部で優勝した牛深町から出場の佐用里美さんが、総合グランプリを受賞。佐用さんには、牛深町出身の造形作家gajuさん（熊本市）が制作したトロフィーなどが贈られました。

読み聞かせの基本を学ぶ

読み聞かせ学習会

6月22日、御所浦地区公民館主催の「読み聞かせ学習会」が開かれ、地区住民28人が参加しました。読み聞かせに興味がある人を対象にした全3回の学習会で、今回が1回目。

参加者は、牛深図書館の坂田文香館長らから、読み聞かせに入るまでの流れや絵本の選び方などを学びました。また、聞き手の興味をひくための“手遊び”の指導もあり、熱心に取り組んでいました。



▲“手遊び”をするようす



▲クロメ丼500円



▶店内のようす

新鮮な魚介類が味わえます！

漁協が運営するレストランがオープン

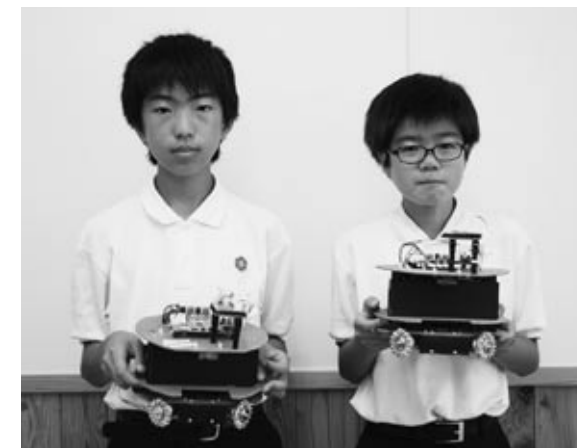
天草の新鮮な海の幸を堪能できる「天草漁協レストラン」が、五和町二江にある同漁協五和支所内にオープンしています。県内では唯一の漁協が直接運営するレストランで、海産物などを販売する直売所も併設されています。新鮮な地魚を使った海鮮丼や五和町特産の海藻“クロメ”を使用した丼、ウニ丼（9月末まで）をはじめ、焼きアワビや焼きヒオウギ貝も販売しています。

8月末までは、水曜日を除き毎日営業。ただし、お盆は14日☎営業、同15日☎・16日☎は休業となります。9月以降の営業日などの詳細は、同支所直売所☎0240へお尋ねください。

自作ロボットが世界で躍動！

本渡中学校の生徒がロボットの世界大会に出場。本渡中学校2年の谷颯真さんと吉田翔さんが、6月26日から同30日までオランダで開催された「ロボカップジュニア世界大会」のサッカー競技に、日本代表として出場しました。自作のプログラムを組み込み、ロボット自身が判断して動く「自律型ロボット」の性能を競うもので、県内からの同大会への出場は、2人が初めて。競技は、縦1.8m、横1.2mのコートに1チーム2台のロボットで実施。ロボットが、ボールが発する赤外線を感知し、ゴールまで転がして得点を競います。結果は、18チーム中、ベスト8と大健闘。

谷さんは、「次の大会も出場し優勝を目指したい」、吉田さんは「1勝するという目標が達成できてよかった」と話していました。



◀自作したロボットを持つ谷さん（右）と吉田さん（左）



◀大会のようす



▲踊りを披露する出演者たち

大いににぎわった文化の祭典

天草市民芸術祭・芸文祭in栖本

6月30日、栖本福祉会館で「天草市民芸術祭・芸文祭in栖本」が開催され、栖本町内外から約400人が来場しました。市芸術文化協会が毎年実施しているもので、同町では初めての開催。

会場では、同協会会員らによる絵画や書道、パッチワークなどの作品200点以上を展示。ステージでは地元の愛好家によるフラダンスや、市内の各芸能クラブが歌や踊りなどを披露し、大いににぎわっていました。

天草のうんまかもんがずらり！

熊本天草うんまかもん祭り

7月10日から同15日まで、横浜市泉区にあるイトーヨーカドー立場で「第2回熊本天草うんまかもん祭り」が開かれました。同店内に出店している“あまくさ宝島市場”が、天草の産品の魅力を都市圏へ発信しようと開催したもの。期間中は、天草市内の生産者や飲食業者など20業者が参加。地鶏の天草大王からとったダシを使った皿うどんや、鯛めしなどが販売されたほか、かんきつ類や野菜、特産品など282点がずらりと並び、会場は多くの買物客でにぎわっていました。



▲生産者と話しながらい買物を楽しむお客さん